

■ 施策評価シート

施策番号	12-01-①	まちづくりの基本方針	「安心」が得られるまちへ
		分野	防犯・防災
		基本方針	犯罪のないまちづくり
施策名	自主防犯活動の展開		

施策の概要

街頭啓発の実施や防犯ボランティア団体等への活動支援等を通じて市民の防犯意識の高揚につなげ、警察や県と連携を図りながら、犯罪抑止に努めます。

成果指標(単位)	人口1万人当たりの犯罪認知件数(件)				
	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
目標値	(※基準値)	97	92	89	88
実績値	107.7	94.7	83.5	—	—

成果指標実績に対するコメント

犯罪率は前年度より減少し、目標を達成することができた。特に自転車盗難は凶悪事件へのゲートウェイ犯罪となっており、多発する自転車盗難対策を重点的に進めた結果、犯罪認知総件数は対平成29年比137件減(約11%減)と犯罪件数の減少につながった。

施策の達成度評価

自転車盗対策については、ワーストランキングの公表により駐輪場事業者の意識改革につながり、一定の成果があった。今後も警察と連携して定期的な指導を行い、事業者の自発的な取り組みの継続を促すとともに、市民の意識改革に努めていく。

評価に基づいた令和2年度の取組についての考え方

ワーストランキングの周知や各駐輪場事業者の意識改革の取り組みにより、自転車盗対策の効果が発揮されてきたが、県内都市部の犯罪率ではワースト1位であるため、引き続き、街頭での啓発活動を実施するとともに、自転車盗多発場所にて、施錠確認・巡回啓発に取り組むことでさらなる市民の意識改革に努めていく。

施策実績に影響を与えた外的要因その他特記事項

平成30年5月に発生した新潟児童連れ去り殺害事件など、凶悪犯罪の発生により、地域の防犯意識が高まったことによると考えられる。

■ 施策に含まれる主要事業一覧

主要事業	担当課	成果達成度 (主要事業のみ)	達成度評価理由
防犯対策事業	危機管理課	○	事業者・市民の意識改革を促し、犯罪率の減少につながった。

■ 施策に含まれるその他の事業一覧

事務事業	担当課

成果達成度の表示について

- ◎ 期待を超える成果があった
- 期待どおりの成果があった
- △ 期待未満の成果であった

※施策に含まれる事務事業のうち、主要事業についてのみ記載しています。

■ 施策評価シート

まちづくりの基本方針	「安心」が得られるまちへ
分野	防犯・防災
基本方針	犯罪のないまちづくり

施策番号	12-01-②
施策名	防犯設備の維持・整備

施策の概要
 長寿命を考慮したLED防犯灯の設置、また、防犯設備の設置促進等により、犯罪を未然に防ぐまちづくりを進めます。

成果指標(単位)	人口1万人当たりの犯罪認知件数(件)				
	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
目標値	(※基準値)	97	92	89	88
実績値	107.7	94.7	83.5	—	—

成果指標実績に対するコメント
 犯罪率は前年度より減少し、目標値を達成することができた。犯罪認知総件数は対平成29年比137件減(約11%減)となった。各種防犯啓発活動などのソフト事業をあわせ、防犯灯整備による夜間時の安全な通行環境が構築されたことも減少の一因と考える。

施策の達成度評価
 集落と集落をつなぎ、不特定多数の者が通行する市管理道路における歩行者、自転車等の夜間の通行の安全を確保するため、学区要望に基づき防犯灯の整備を進めた結果、夜間時の安全な通行環境の構築につながった。

評価に基づいた令和2年度の取組についての考え方
 本市における犯罪については、年々減少傾向にあるものの犯罪率が県内都市部でワースト1位の状況にあり、まだまだ犯罪の減少に取り組んでいかなければならない状況にある。今後も継続して防犯灯の設置促進等の防犯対策を進め、犯罪の抑止に取り組む必要がある。

施策実績に影響を与えた外的要因その他特記事項
 平成30年5月に発生した新潟児童連れ去り殺害事件など、凶悪犯罪の発生により、地域の防犯意識が高まったことによると考えられる。

■ 施策に含まれる主要事業一覧

主要事業	担当課	成果達成度 (主要事業のみ)	達成度評価理由
防犯灯維持管理事業	危機管理課	○	新設した防犯灯および既設の防犯灯を適正に維持管理した。

■ 施策に含まれるその他の事業一覧

事務事業	担当課

成果達成度の表示について
 ◎ 期待を超える成果があった
 ○ 期待どおりの成果があった
 △ 期待未満の成果であった
 ※施策に含まれる事務事業のうち、主要事業についてのみ記載しています。

■ 施策評価シート

まちづくりの基本方針	「安心」が得られるまちへ
分野	防犯・防災
基本方針	自助・共助による防災対策の充実

施策番号	12-02-①
施策名	自主防災体制の確立と市民意識の高揚

<p>施策の概要</p> <p>自主防災組織の育成等を進め、防災訓練や地域協働での防災教育、災害時要援護者への個別支援体制づくり、また、住宅耐震化の支援等を進めます。</p>
--

成果指標(単位)	自主防災組織数(団体)				
	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
目標値	(※基準値)	200	201	202	203
実績値	200	201	202	—	—

<p>成果指標実績に対するコメント</p> <p>市や消防からの組織化の呼びかけ等もあって、平成30年度は1町内会が自主防災組織を結成した。実績値としては、平成30年度の目標値を達成している。</p>

<p>施策の達成度評価</p> <p>自主防災組織の組織数は、着実に増えてきている。防災講座や地域の防災訓練から、防災意識の高まりを感じられた。</p>

<p>評価に基づいた令和2年度の取組についての考え方</p> <p>これからも引き続き、自主防災組織未設置町内会に設置を呼び掛けるとともに、自助・共助の取組を推進し、防災意識の高揚に努める。</p>
--

<p>施策実績に影響を与えた外的要因その他特記事項</p> <p>平成30年7月豪雨など大規模災害が相次いでいることから、地域の防災意識が高まったことが考えられる。</p>

■ 施策に含まれる主要事業一覧

主要事業	担当課	成果達成度 (主要事業のみ)	達成度評価理由
自主防災組織育成事業	危機管理課	○	自主防災組織の組織数は順調に増えており、おおむね期待通りの成果を得ることができた。

■ 施策に含まれるその他の事業一覧

事務事業	担当課
自主防災組織出初式開催事業	危機管理課
民間建築物耐震化促進事業	建築課
震災避難経路整備促進事業	建築課

成果達成度の表示について

- ◎ 期待を超える成果があった
- 期待どおりの成果があった
- △ 期待未満の成果であった

※施策に含まれる事務事業のうち、主要事業についてのみ記載しています。

■ 施策評価シート

まちづくりの基本方針	「安心」が得られるまちへ
分野	防犯・防災
基本方針	災害に強いまちづくり

施策番号	12-03-①
施策名	消防体制・基盤の充実

施策の概要
 消防・防災体制に係る人的資源の充実を図るとともに、消防団装備品の整備を進める等、迅速・確実な消防活動の確保に努めます。

成果指標(単位)	実消防団員数/定数(%)				
	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
目標値	(※基準値)	90.0	91.0	92.0	93.0
実績値	88.3	91.0	88.6	—	—

成果指標実績に対するコメント
 地元における積極的な募集活動により、平成30年については、新たに10名が入団した。実消防団員数の増加は、消防・防災体制の強化となる。

施策の達成度評価
 実消防団員は増加しているものの、依然として定数には達しておらず、引き続き団員確保に向けた取組を継続する必要がある。

評価に基づいた令和2年度の取組についての考え方
 団員の確保と併せて、強化・充実を図るために教育・訓練や活動での装備の整備を進める。

施策実績に影響を与えた外的要因その他特記事項
 平成30年7月豪雨など大規模災害が相次いでいることから、地域の防災意識が高まったことによると考えられる。

■ 施策に含まれる主要事業一覧

主要事業	担当課	成果達成度 (主要事業のみ)	達成度評価理由
湖南広域行政組合負担金事務(消防費)	危機管理課	○	消防・防災体制に係る人的資源の充実を図るとともに、消防活動に必要な設備の整備や維持を行い迅速・確実な活動の確保ができた。
消防団活動事業	危機管理課	○	消防団の装備の計画的な整備ができた。

■ 施策に含まれるその他の事業一覧

事務事業	担当課
消防水利維持管理事業	危機管理課
消防車両等整備事業	危機管理課
コミュニティ防災センター運営事業	危機管理課

成果達成度の表示について
 ◎ 期待を超える成果があった
 ○ 期待どおりの成果があった
 △ 期待未達の成果であった
 ※施策に含まれる事務事業のうち、主要事業についてのみ記載しています。

■ 施策評価シート

まちづくりの基本方針	「安心」が得られるまちへ
分野	防犯・防災
基本方針	災害に強いまちづくり

施策番号	12-03-②
施策名	地域防災体制・基盤の強化

施策の概要
 災害時に即応できる防災体制と情報伝達体制等を強化させるほか、計画的な備蓄確保や地域ごとの防災拠点の整備等に努めます。

成果指標(単位)	災害に強いまちであると感じる市民の割合(%)				
	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
目標値	(※基準値)	23.0	24.0	25.0	26.0
実績値	21.5	20.7	24.1	—	—

成果指標実績に対するコメント
 市民意識調査の結果、災害に強いまちであると感じている市民の割合は、目標値より0.1ポイント上回り、目標を達成することができた。市の取組が市民に安心感を与えることにつながった。

施策の達成度評価
 平成30年度は、防災備蓄倉庫を2基、中学校に設置し、防災機能を高めることができた。また、平成31年度から受信ができなくなる旧型のJアラート受信機について、新型受信機を導入し、情報伝達体制を確保できた。

評価に基づいた令和2年度の取組についての考え方
 令和元年度に引き続き、災害用Wi-Fiの整備を進め、緊急時の情報伝達の更なる円滑化を図る。また、マンホールトイレ、防災備蓄倉庫の整備を進め、防災拠点の充実を図る。

施策実績に影響を与えた外的要因その他特記事項
 平成30年7月豪雨など大規模災害が相次いでいることから、地域の防災意識が高まったことによると考えられる。

■ 施策に含まれる主要事業一覧

主要事業	担当課	成果達成度 (主要事業のみ)	達成度評価理由
防災対策事業	危機管理課	○	情報伝達手段の強化や備蓄品の整備などを行い、防災基盤の強化をすることができた。
水防訓練事業	河川課	○	水防訓練の実施により、水防活動の強化を図ることができた。
大雨警報警戒態勢事業	河川課	○	気象情報をリアルタイムに取得し、迅速な水防体制づくりを図ることができた。

■ 施策に含まれるその他の事業一覧

事務事業	担当課

成果達成度の表示について
 ◎ 期待を超える成果があった
 ○ 期待どおりの成果があった
 △ 期待未達の成果であった
 ※施策に含まれる事務事業のうち、主要事業についてのみ記載しています。

■ 施策評価シート

まちづくりの基本方針	「安心」が得られるまちへ
分野	防犯・防災
基本方針	治水対策の推進

施策番号	12-04-①
施策名	河川・排水路の整備

施策の概要
 河川・排水路の適切な整備により、まちの雨水排水能力の向上と浸水の防除を図るとともに、一級河川の早期整備に向けた要望活動に取り組みます。

成果指標(単位)	要望件数に対する実施率(%)				
	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
目標値	(※基準値)	100	100	100	100
実績値	64	70	100	—	—

成果指標実績に対するコメント
 各町内会の要望に対する水路整備等を実施し、目標を達成することができた。

施策の達成度評価
 雨水排水路の整備のみならず、市民の生活に密着した水路改修についても多くの要望があり、雨水排水能力の向上を行うことができた。

評価に基づいた令和2年度の取組についての考え方
 近年、全国的にゲリラ豪雨による浸水被害が増えており、市民の注目も高まっているため、町内会の要望事項を中心とし、適切な水路の整備の早期実施に努める。

施策実績に影響を与えた外的要因その他特記事項

■ 施策に含まれる主要事業一覧

主要事業	担当課	成果達成度 (主要事業のみ)	達成度評価理由
河川改修事業	河川課	○	予定通りの雨水排水路の整備を行うことができた。
河川維持補修事業	河川課	○	適時補修を行い、適切な維持管理をすることができた。

■ 施策に含まれるその他の事業一覧

事務事業	担当課
町内会河川清掃浚渫土運搬事業	河川課
草刈等河川愛護推進事業	河川課
調整池維持管理事業	河川課

成果達成度の表示について
 ◎ 期待を超える成果があった
 ○ 期待どおりの成果があった
 △ 期待未満の成果であった
 ※施策に含まれる事務事業のうち、主要事業についてのみ記載しています。

■ 施策評価シート

まちづくりの基本方針	「安心」が得られるまちへ
分野	防犯・防災
基本方針	治水対策の推進

施策番号	12-04-②
施策名	公共下水道雨水幹線の整備

施策の概要

大雨による家屋等の浸水被害の軽減・未然防止を図るため、雨水排水路を整備します。

成果指標(単位)	平成27年度末時点の雨水排水路整備面積に対する進捗増加率(%)				
	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
目標値	(※基準値)	0.7	1.1	1.7	2.1
実績値	0.2	0.34	1.03	—	—

成果指標実績に対するコメント

工事のスケジュールに変更が生じ、令和元年度に一部工事を繰り越したため、平成30年度末時点の実績値が下がる結果となった。令和2年度末で目標値のとおり2.1に到達する予定である。

施策の達成度評価

平成30年度は、北川第3排水区・新草津川左岸第2排水区・新草津川左岸第4排水区の雨水幹線整備を行っており、浸水防止対策が図れた。

評価に基づいた令和2年度の取組についての考え方

近年、全国的にゲリラ豪雨による浸水被害が増えており、市民の注目も高まっているため、今後も浸水被害の軽減・防止を目的として雨水排水路の整備を進める。

施策実績に影響を与えた外的要因その他特記事項

■ 施策に含まれる主要事業一覧

主要事業	担当課	成果達成度 (主要事業のみ)	達成度評価理由
雨水管渠整備事業	河川課	○	予定通りの雨水排水路の整備を行うことができた。
雨水管渠等維持管理事業	河川課	○	適時補修を行い、適切な維持管理を行うことができた。

■ 施策に含まれるその他の事業一覧

事務事業	担当課

成果達成度の表示について

- ◎ 期待を超える成果があった
- 期待どおりの成果があった
- △ 期待未満の成果であった

※施策に含まれる事務事業のうち、主要事業についてのみ記載しています。